

静岡県信連について

1. 静岡県信連の概要

(令和5年9月30日現在)

- 設 立：昭和23年8月
- 住 所：静岡市駿河区曲金三丁目8番1号
- 会 員 数：43会員（正会員23会員／准会員20会員）
- 出 資 金：1,613億円
- 役 員 数：経営管理委員10名／理事5名／監事3名
- 職 員 数：275名
- 店舗体制：本店／富士営業部／浜松営業部

2. 経営方針

経営方針

当会は、“農協金融を協同の精神で支援する県単位の連合組織金融機関”であるとともに、“地域社会と地域経済に密着した金融機関”として会員・お客さまの期待と信頼にこたえることを使命とします。

理 念

- 連合組織金融機関として調和を大切に効率的な組織機能を発揮します。
- 創造性ある金融サービスをととして地域社会と夢のあるつながりを目指します。
- 社会的責任を自覚した健全経営を行います。

Vision



concept
静岡の誇る食と農を未来へとつないでいくため、ヒトと地域、食農分野をつなぎ、静岡の農業の発展に欠かせない存在となることを目指す。

行動規範

連合組織金融機関

- 系統金融機関として資金の運用と信用秩序の維持機能の役割を担い、自己責任に基づいた健全経営を確立し、会員への安定的利益還元と機能提供を図ります。

地域金融機関

- 金融サービス、情報の提供をととしてお客様の豊かな暮らしに貢献します。
- 地域のパートナーとして農業の発展と地域経済に貢献します。
- 緑を大切に生活環境に根ざした文化活動に貢献します。

組織・職場の活性

- 職員の個性を大切にし金融のスペシャリストを目指し幅広い視野に立って能力の開発と人材の育成を実践します。
- 系統金融組織と職場の合理性・効率性を常に追求し、自由闊達な職場風土を作ります。

役職員
行動指針

- 信頼に対し実意（誠意・熱意・好意）を持って行動します。
- 社会的公共性を踏まえその責務を果たします。
- 創造性と協調性をもって目標に向かい邁進します。
- 主体性ある行動により改革と飛躍を目指します。
- 豊かな人間性とやりがいを創出し幸福を追求します。

3. 静岡県信連グループ中期経営計画

中期経営計画の実践に向けては、基盤（Base）となる人財・組織基盤等の“事業を支える経営基盤を充実・強化”させ、使命（Mission）としてJA系統の最大の強みである“食農領域における取組みの加速”、会員JAに対する“機能還元”の更なる充実“、投融资による安定収益確保を通じた“持続可能な利益還元”を果たすべく、あらゆる手段を講じてまいります。



4. JAバンク静岡のネットワーク



組合名	
① JAふじ伊豆	⑥ JA掛川市
② JAしみず	⑦ JA遠州夢咲
③ JA静岡市	⑧ JA遠州中央
④ JA大井川	⑨ JAとびあ浜松
⑤ JAハイナン	⑩ JAみっかび

※ 各JAの詳細について <https://www.jabank-shizuoka.gr.jp/tenpo/>



5. SDGsへの取り組み

静岡県信連グループは、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」の趣旨に賛同し、「創造性ある金融サービスをとおして地域社会に貢献する」という経営理念のもとに、“Agricultural Regional Coordinator”として、ヒトと地域、食農分野をつなぎ、地域社会と農業の持続的発展に貢献します。



◇JAバンク自己改革の取り組み

農業を取巻く状況は厳しさを増すなか、JAグループは平成26年に自らの改革として「JAグループ自己改革」を策定しました。

JAバンクもJAグループの一員としてこれまで以上に農業・地域に貢献していくため、信用事業の取り組みを「JAバンク自己改革」として取りまとめ実践してきました。

当会におきましても、JAバンク静岡アグリサポートプログラムをはじめとした農業者支援やJAらしい金融サービスの提供等の県域施策を推し進め、今後も引き続き、農業所得増大・地域活性化に結び付く取り組みを継続していきます。

●信連による県域施策

取組項目	
農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応	JAバンク静岡アグリサポートプログラムの実践
	農業者（組合員）への融資サポート及びコンサルティングの実践
	JA担い手サポートセンター機能構築への取組み
	販路拡大による農業者の所得向上 ・企業等とのビジネスマッチング（系統や農業者所得に繋がる取組み）
JAが営農経済事業に全力投球できる環境整備	JA営農・経済事業の成長・効率化に向けた取組支援
	生産資材等価格高騰への支援（JAが農業生産資材等の供給価格抑制のために行う事業への費用助成措置）
	JA店舗機能・運営体制の整理
	非対面チャネルの普及促進
	信用事業合理化策及び事務の集約・効率化
農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献	ローンキャンペーンを通じたSDGsへの取組み ・ふじのくに美しい森林づくり基金
	JAバンク食農教育応援事業の展開 ・食農教育補助教材の寄贈
	農畜産物直売所利用促進への取組み（JAカード5%割引）
	店舗再編に伴う金融移動店舗車両のJAへの導入支援



◇農業メインバンク機能の強化等にかかる取組み

当会は、平成28年度よりJAバンク全国施策ではカバーしきれない領域を補充すべく、全国施策と併せて「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」を展開し、県内農業者の所得向上及び持続的な発展に向けた取組みを実践しています。

①JAバンク静岡保証料助成

農業資金のお借入をされる農業者を支援するため、保証料助成による金融支援を行っています。

②JAバンク利子補給

農業資金の融資を受ける農業者の借入負担の軽減を図り、経営をバックアップするため、利子補給による金融支援を行っています。

③自然災害等による農業被害への金融支援

台風・凍霜害・雪害等の自然災害や新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた農業者の早期復旧を支援するため、利子補給・保証料助成による金融支援を実施しています。

④親元就農支援

若い労働力の確保や後継者育成に繋げるため、親元就農者の育成のために支出した費用に対し助成を行っています。

⑤担い手育成支援

農畜産業の担い手の育成や、地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化に繋げるため、県内の農業高校等の学生が行う研究等に対して費用助成を行っています。

○研究等に対する助成金目録贈呈式



《 令和5年7月21日 県立農林環境専門職大学にて》



《 令和5年8月8日 静岡県教育委員会にて》